

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2012年3月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	トレンド・アロケーション・オープン	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券、マネー・プールマザーファンド受益証券
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	先進国の国債、世界各国のETF等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産へ、実質的に投資します。 ・安定的な資産成長のために、市場環境に応じて機動的な資産配分を行います。 ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

トレンド・アロケーション・オープン



第4期（決算日：2016年1月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「トレンド・アロケーション・オープン」は、去る1月25日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

トレンド・アロケーション・オープンのご報告

◇ファンドマネージャーのコメント	1
◇設定以来の運用実績	2
◇当期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	12
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	14
◇マネー・プール マザーファンド	20

■ ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、トレンド・アロケーション・オープンは2016年1月25日に第4期の決算を迎えました。日頃より当ファンドに関し、格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期における基準価額は6.7%の下落となり、決算期ベースで初めてのマイナスリターンとなりました。中国経済に対する懸念が強まった2015年後半より、世界的に株式市場など高リスク資産が下落したことが、当ファンドのパフォーマンスの下落要因となりました。その後も米国利上げに関する懸念や、原油価格の下落など不安材料が続き、厳しい投資環境が続いております。

このような投資環境の下、当ファンドは通常より頻繁に市場環境に応じて機動的な資産配分を行うことで、ファンドのコンセプトでもある『負けにくい投資』に努めてまいりました。具体的には、トレンド分析の結果に基づき、先進国株式やリート等の高リスク資産の比率を徐々に引き下げ、高リスク資産比率を2015年9月末には設定来月末ベースで最も低い水準としました。その後、投資環境が一時的に回復したことを受けて高リスク資産比率をやや増やしたものの、2016年に入り再び世界経済の先行き不透明感が広がったため、当期末現在は低リスク資産に比重を置いた資産配分としております。

過去1年間の高値からの下落率を15%以内に収めることを目指すための「ダウンサイド・リスク・マネジメント」による短期債券・キャッシュの組入比率の引き上げは行っていません。当期末時点で過去1年間の高値からの下落率は9.2%となっており、今後も市場環境を見極めながら発動も視野に入れ、急激な基準価額の下落に対する抑制に努めてまいります。

当期はマーケットの変動に大きく振られ、マーケットと向き合う難しさを感じた1年でもありました。2016年の初めに資産市場が世界的に不安定な動きをした局面では、分散投資と機動的な資産配分の調整を実施したことや、外貨建資産に対する為替ヘッジを行ったことで、「過度な資産価格下落」と「円高による為替差損」という2つの影響を同時に受けてしまうことを軽減できたと考えております。

当ファンドは“長期分散投資でリスクに見合ったリターンが得られる確度を高める”ということを信念としております。加えて、投資を続ける中でかならず直面する下落局面で投資をやめてしまわないための「下落リスクへの備え」は、どんな局面においても信念を貫くための大きな支えになると考えます。今後も運用品質の維持・向上に励み、金融市場の変動を乗り越えて、長期投資のコアとなるような安定した運用成果の実現を目指してまいります。引き続き、当ファンドを資産形成の基盤としてご活用いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ
ポートフォリオ・マネージャー：Dr. ミハエル・スタモス

Dr. Michael Stamos

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落 率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2012年3月30日	10,000	—	—	—	—	—	999
1期(2013年1月25日)	10,351	0	3.5	0.1	—	97.9	1,251
2期(2014年1月27日)	10,986	0	6.1	0.0	—	97.3	6,705
3期(2015年1月26日)	11,848	0	7.8	0.0	—	99.0	31,788
4期(2016年1月25日)	11,054	0	△6.7	0.0	—	99.0	88,670

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比	債 券 先 物 率	投 資 信 託 証 比
	騰 落	率			
(期 首)	円	%	%	%	%
2015年1月26日	11,848	—	0.0	—	99.0
1月末	11,812	△0.3	0.0	—	99.0
2月末	12,028	1.5	0.0	—	99.0
3月末	12,078	1.9	0.0	—	98.9
4月末	12,154	2.6	0.0	—	98.4
5月末	12,038	1.6	0.0	—	98.5
6月末	11,698	△1.3	0.0	—	98.6
7月末	11,835	△0.1	0.0	—	99.0
8月末	11,468	△3.2	0.0	—	99.0
9月末	11,276	△4.8	0.0	—	99.0
10月末	11,603	△2.1	0.0	—	99.0
11月末	11,622	△1.9	0.0	—	99.0
12月末	11,484	△3.1	0.0	—	99.0
(期 末)					
2016年1月25日	11,054	△6.7	0.0	—	99.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

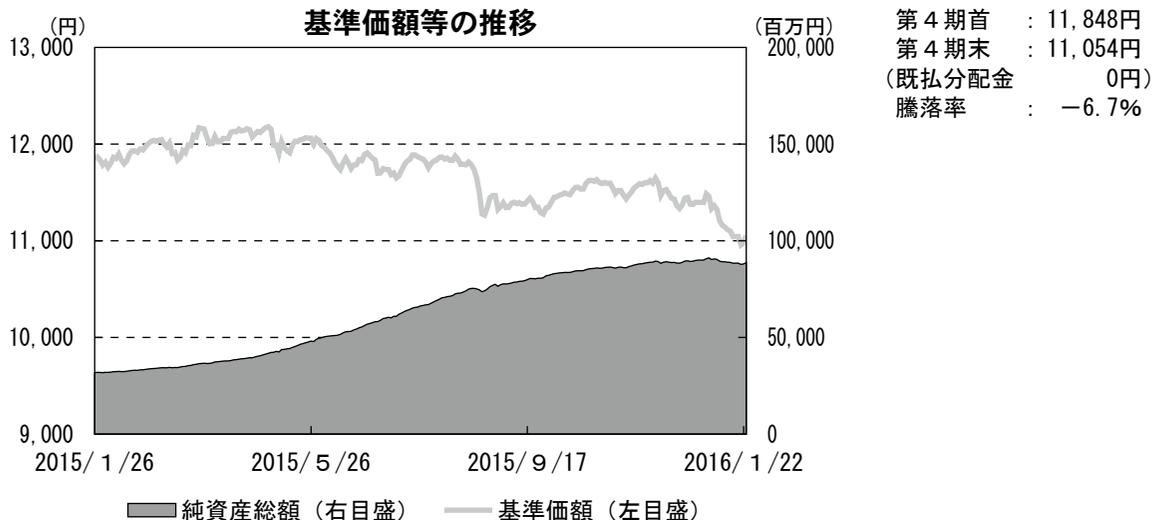
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第4期：2015/1/27～2016/1/25)

基準価額の動き 基準価額は期首に比べ6.7%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

先進国株式、新興国株式、リート、コモディティなどの価格が下落したこと、対円での為替ヘッジコストなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第4期：2015/1/27～2016/1/25)

◎国債市況

- ・米国では期の初めから2015年3月の前半にかけては、米連邦準備理事会（FRB）による利上げ予想から国債の利回りは上昇（債券価格は下落）しましたが3月の利上げが見送られると利回りは低下しました。一方、欧州では欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和が実施され4月半ばまで国債利回りは低下しました。
- ・5月から6月にかけては、米国での利上げ見通しや、欧州の景気指標の回復、インフレ率の上昇などから欧米で国債利回りが上昇しました。イタリアやスペイン国債のドイツ国債利回りに対するスプレッド（利回りの差）は拡大しました。
- ・ユーロ圏各国とギリシャが債務問題の救済措置に合意したことや原油価格が低下したことなどから7月以降は欧州の金利は低下傾向となりました。米国では12月の利上げ見通しから11月に国債利回りが上昇しましたが、原油価格の下落や中国経済に対する懸念などから上昇幅は限定的でした。

◎株式市況

- ・期の初めから2015年8月にかけては、先進国の中央銀行が緩和的な政策を行ったことなどから日米の株式市場は堅調でした。一方、欧州ではギリシャ債務問題に対する懸念などから4月後半以降はやや軟調でした。
- ・8月は中国経済に対する不透明感や人民元の対米ドル為替レートの基準値切り下げ、原油などのコモディティ価格の下落などを受けた素材・エネルギー関連株の業績や産油国経済に対する懸念などから、世界の株式市場は大幅に下落しました。
- ・10月にFRBが利上げを見送ったことなどから先進国の株式市場は反発しました。しかし原油価格が下げ止まらないことや中国経済に対する懸念などから2016年1月に再び大きく下落しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはおおむね0%以下で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<トレンド・アロケーション・オープン>

- ・円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行いました。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ、下落しました。

<ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）>

（当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資しました。また、組入比率の調整を目的として、世界各国の先物取引も利用しました。
- ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。
- ・ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築しました。

【トレンド・アロケーション】

期の初めから2015年6月末にかけては、高リスク資産の比率を60%程度と高めに維持しました。7月から9月にかけては、高リスク資産のトレンドの見通しを弱気に引き下げたことから、高リスク資産の比率を引き下げ、米国国債等の低リスク資産の比率を引き上げました。10月から12月にかけては、高リスク資産の比率を徐々に引き上げましたが、2016年1月には再び高リスク資産のトレンドの見通しを弱気とし、高リスク資産の比率を引き下げました。その結果、期末の資産クラス別構成比は高リスク資産37.0%、低リスク資産63.0%となりました。

【タクティカル・アセット・アロケーション】

基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」では、概ね低リスク資産の見通しをやや弱気に、高リスク資産の見通しをやや強気としました。

【ダウンサイド・リスク・マネジメント】

下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」では、期を通して短期債券・キャッシュの組入比率の引き上げは行いませんでした。

- ・上記の結果、先進国国債が底堅く推移したことがプラスに寄与した一方、先進国株式、新興国株式、リート、コモディティなどの価格が下落したこと、対円で為替ヘッジコストなどがマイナスに作用しました。

(ご参考)

資産クラス別構成比

期首 (現地2015年1月26日)

資産クラス		比率	
低リスク資産	先進国国債	22.2%	39.3%
	先進国社債	10.8%	
	オルタナティブ	—	
	現金等	6.3%	
高リスク資産	先進国株式	48.2%	60.7%
	新興国株式	2.0%	
	新興国国債	1.0%	
	コモディティ	1.2%	
	リート	8.1%	

期末 (現地2016年1月25日)

資産クラス		比率	
低リスク資産	先進国国債	34.1%	63.0%
	先進国社債	3.4%	
	オルタナティブ	—	
	現金等	25.5%	
高リスク資産	先進国株式	21.0%	37.0%
	新興国株式	0.2%	
	新興国国債	8.6%	
	コモディティ	0.4%	
	リート	6.7%	



- ・比率はダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY) の純資産総額に対する割合です。
- ・現金等は、短期債券を含みます。また、為替ヘッジの含み損益を含むためマイナスになることがあります。
- ・資産クラス別構成比は、アリアンツ・グローバル・インベスターズからの情報提供を基に表示しています。
- ・各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

(注) 当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国の国債や短期国債 (国庫短期証券) 現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどにより、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2015年1月27日～2016年1月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,272

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<トレンド・アロケーション・オープン>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行います。

<ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）>

◎運用環境の見通し

- ・FRBの利上げは緩やかなペースになると考えられるものの、米国や英国の国債利回りは中期的にはある程度上昇すると思われれます。一方、日欧の中央銀行は引き続き金融緩和政策を継続するとみられ、株式市場を長期的に下支えするほか、日本や欧州の国債利回りは当面の間低水準で推移すると思われれます。

◎今後の運用方針

（当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資します。
- ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行う方針です。
- ・ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築します。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 1月27日～2016年 1月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	80円 (38)	0.679% (0.323)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(販売会社)	(38)	(0.323)	
(受託会社)	(4)	(0.032)	
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.011 (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	81	0.690	
期中の平均基準価額は、11,758円です。			

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年1月27日～2016年1月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口 55,629,210	千円 62,484,997	千口 6,355	千円 7,326

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月27日～2016年1月25日)

利害関係人との取引状況

<トレンド・アロケーション・オープン>

該当事項はございません。

<マネー・プール マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	1,500	99	6.6	—	—	—

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年1月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首 (前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	27,389,662	83,012,517	87,785,737	99.0
合 計	27,389,662	83,012,517	87,785,737	99.0

(注) 比率はトレンド・アロケーション・オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首 (前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	
	千口	千口	千円	
マネー・プール マザーファンド	997	997	1,002	

○投資信託財産の構成

(2016年1月25日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
投資信託受益証券	87,785,737	98.3	
マネー・プール マザーファンド	1,002	0.0	
コール・ローン等、その他	1,479,288	1.7	
投資信託財産総額	89,266,027	100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	89,266,027,213
コール・ローン等	1,479,285,540
投資信託受益証券(評価額)	87,785,737,068
マネー・ブール マザーファンド(評価額)	1,002,194
未収利息	2,411
(B) 負債	595,690,786
未払金	118,808,542
未払解約金	188,155,610
未払信託報酬	284,215,340
その他未払費用	4,511,294
(C) 純資産総額(A-B)	88,670,336,427
元本	80,217,682,524
次期繰越損益金	8,452,653,903
(D) 受益権総口数	80,217,682,524口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,054円

<注記事項>

①期首元本額	26,831,412,865円
期中追加設定元本額	60,623,352,655円
期中一部解約元本額	7,237,082,996円
また、1口当たり純資産額は、期末1.1054円です。	

②分配金の計算過程

項 目	2015年1月27日～ 2016年1月25日
費用控除後の配当等収益額	211,064,001円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	8,896,545,433円
分配準備積立金額	1,101,638,427円
当ファンドの分配対象収益額	10,209,247,861円
1万口当たり収益分配対象額	1,272円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

- ①投資している「ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド(JPY)」において、投資顧問会社の社名が2014年11月28日付で従来の「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー」から「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー」へ変更となりました。
- ②委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ③委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ④2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われず。)) の税率が適用されます。

○損益の状況 (2015年1月27日～2016年1月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	649,647,864
受取配当金	648,887,505
受取利息	760,359
(B) 有価証券売買損益	△ 6,011,563,807
売買益	152,383,507
売買損	△ 6,163,947,314
(C) 信託報酬等	△ 438,585,429
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 5,800,501,372
(E) 前期繰越損益金	1,101,638,427
(F) 追加信託差損益金	13,151,516,848
(配当等相当額)	(8,896,545,425)
(売買損益相当額)	(4,254,971,423)
(G) 計(D+E+F)	8,452,653,903
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	8,452,653,903
追加信託差損益金	13,151,516,848
(配当等相当額)	(8,896,545,433)
(売買損益相当額)	(4,254,971,415)
分配準備積立金	1,312,702,428
繰越損益金	△ 6,011,565,373

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年1月25日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体（773,547千口）の内容です。

国内公社債

(A)国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	596,500 (200,000)	598,925 (200,000)	77.0 (25.7)	— (—)	— (—)	— (—)	77.0 (25.7)
合 計	596,500 (200,000)	598,925 (200,000)	77.0 (25.7)	— (—)	— (—)	— (—)	77.0 (25.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B)国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第566回国庫短期証券	—	200,000	200,000	2016/2/1	
第98回利付国債（5年）	0.3	100,000	100,127	2016/6/20	
第277回利付国債（10年）	1.6	67,900	68,059	2016/3/20	
第279回利付国債（10年）	2.0	28,600	28,683	2016/3/20	
第280回利付国債（10年）	1.9	50,000	50,381	2016/6/20	
第282回利付国債（10年）	1.7	150,000	151,674	2016/9/20	
合 計		596,500	598,925		

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、トレンド・アロケーション・オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）
運 用 方 針	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー [旧社名：アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー] の「ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略」による運用を行います。 ・ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略は、アクティブなアセット・アロケーションとダウンサイド・リスク低減のためのリスク・マネジメントを組み合わせることにより、リスク調整後の良好なリターンを獲得を目指します。
投資顧問会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー [旧社名：アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー]
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2012年3月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2015年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

投資収益

受取利息（外国税額控除後）	¥	57,632,029
受取配当金（外国税額控除後）		222,170,255
投資収益合計		<u>279,802,284</u>

費用

運用受託報酬		85,355,017
会計処理および管理手数料		20,774,520
保管料		12,607,528
専門家報酬		7,341,881
名義書換事務代行手数料		2,605,992
受託者報酬		1,934,765
登録手数料		196,631
その他の費用		1,824,315
費用合計		<u>132,640,649</u>

投資純利益

147,161,635

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	899,398,201
先物取引	649,246,228
外国通貨取引および為替予約取引	<u>(2,243,529,096)</u>

実現純損益

(694,884,667)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	1,903,149,626
先物取引	35,292,459
外国通貨取引および為替予約取引	<u>349,589,425</u>

未実現評価損益の純変動

2,288,031,510

実現および未実現損益（純額）

1,593,146,843

営業活動による純資産の増減（純額）

¥ 1,740,308,478

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 投資明細表

(2015年3月31日現在)

元本金額	銘柄名	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (22.6%)	
	FRANCE (2.3%)	
	GOVERNMENT BONDS (2.3%)	
EUR 4,000,000	France Government Bond OAT 2.25% due 05/25/24	¥ 602,191,576
EUR 1,590,000	3.50% due 04/25/20	240,946,934
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	843,138,510
	TOTAL FRANCE (Cost ¥880,031,127)	843,138,510
	GERMANY (1.1%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.1%)	
EUR 670,000	Bundesrepublik Deutschland 3.50% due 07/04/19	99,918,468
EUR 1,500,000	4.75% due 07/04/28	304,656,635
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	404,575,103
	TOTAL GERMANY (Cost ¥412,069,667)	404,575,103
	ITALY (1.6%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.6%)	
EUR 1,050,000	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 4.25% due 09/01/19	157,672,720
EUR 2,000,000	7.25% due 11/01/26	419,120,331
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	576,793,051
	TOTAL ITALY (Cost ¥570,591,294)	576,793,051
	JAPAN (5.1%)	
	GOVERNMENT BONDS (5.1%)	
JPY 350,000,000	Japan Government 5 Year Bond 0.20% due 03/20/19	351,427,300
JPY 191,700,000	Japan Government 10 Year Bond 1.00% due 09/20/21	201,965,343
JPY 400,000,000	1.70% due 12/20/16	411,396,000
JPY 250,000,000	Japan Government 20 Year Bond 2.10% due 03/20/24	289,121,750
JPY 250,000,000	2.10% due 09/20/29	296,984,750
JPY 300,000,000	Japan Government 30 Year Bond 2.00% due 09/20/40	345,648,300
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	1,896,543,443
	TOTAL JAPAN (Cost ¥1,876,591,598)	1,896,543,443
	SPAIN (0.8%)	
	GOVERNMENT BONDS (0.8%)	
EUR 1,200,000	Spain Government Bond 3.80% due 04/30/24(a)	189,999,394
EUR 820,000	4.60% due 07/30/19	124,594,622
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	314,594,016
	TOTAL SPAIN (Cost ¥319,018,793)	314,594,016
	UNITED KINGDOM (1.8%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.8%)	
GBP 500,000	United Kingdom Gilt 1.75% due 01/22/17	91,086,365
GBP 600,000	3.75% due 09/07/19	119,494,662
GBP 300,000	3.75% due 09/07/21	61,576,760
GBP 500,000	4.25% due 06/07/32	117,013,418
GBP 700,000	4.25% due 12/07/49	182,644,213
GBP 340,000	5.00% due 03/07/25	79,413,363
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	651,228,781
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost ¥622,247,922)	651,228,781

(2015年3月31日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (22.6%) (continued)		
	UNITED STATES (9.9%)		
	GOVERNMENT BONDS (9.9%)		
USD 3,700,000	U.S. Treasury Bond 3.75% due 08/15/41		¥ 551,752,360
USD 500,000	4.50% due 02/15/36		81,705,717
USD 7,300,000	U.S. Treasury Note 1.38% due 12/31/18		882,981,461
USD 4,200,000	2.00% due 05/31/21		515,100,140
USD 2,400,000	2.38% due 08/15/24		299,200,305
USD 8,600,000	2.75% due 11/30/16(b)		1,070,441,830
USD 2,143,260	U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds 1.25% due 07/15/20		278,660,179
	TOTAL GOVERNMENT BONDS		3,679,841,992
	TOTAL UNITED STATES (Cost ¥3,484,063,175)		3,679,841,992
	TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥8,164,613,576)		8,366,714,896
	口数		
	EXCHANGE-TRADED FUNDS (53.9%)		
	GERMANY (1.6%)		
126,300	iShares Euro STOXX 50 ETF DE		605,412,355
	TOTAL GERMANY		605,412,355
	FRANCE (1.1%)		
268,553	LYXOR ETF FTSE 100		391,546,331
	TOTAL FRANCE		391,546,331
	JAPAN (4.8%)		
1,065,000	Nomura TOPIX Exchange Traded Fund		1,693,350,000
	TOTAL JAPAN		1,693,350,000
	UNITED STATES (46.6%)		
180,000	iPath Bloomberg Commodity Index Total Return ETN		598,643,550
157,000	iShares iBoxx Investment Grade Corporate Bond Fund ETF		2,291,774,314
50,000	iShares JPMorgan USD Emerging Markets Bond Fund ETF		672,355,599
190,000	iShares MSCI Emerging Markets Minimum Volatility ETF		1,344,699,205
150,000	iShares MSCI USA Minimum Volatility ETF		742,277,703
88,000	iShares MSCI USA Momentum Factor ETF		741,015,987
192,000	iShares MSCI USA Quality Factor ETF		1,464,780,524
180,000	iShares MSCI USA Value Factor ETF		1,416,624,224
65,650	SPDR S&P 500 ETF Trust		1,630,326,262
75,000	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF		367,630,753
180,000	Vanguard Intermediate-Term Corporate Bond ETF		1,893,293,880
247,000	Vanguard REIT ETF		2,490,485,017
70,000	Vanguard S&P 500 ETF		1,588,419,115
	TOTAL UNITED STATES		17,242,326,133
	EXCHANGE-TRADED FUNDS (Cost ¥17,833,864,648)		¥ 19,932,634,819
	TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥25,998,478,224)	76.5	¥ 28,299,349,715
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	23.5	8,716,449,225
	NET ASSETS	100.0%	¥ 37,015,798,940

(a) 144A Security - Security exempt from registration under Rule 144A of the Securities Act of 1933. These securities may be resold in transactions exempt from registration, typically to qualified institutional buyers. Unless otherwise indicated, these securities are not considered illiquid.

(b) All or a portion of security is pledged as collateral for open futures contracts.

先物取引残高

(2015年3月31日現在)

Cash of ¥121,576,438 is held with the broker for the following open futures contracts on March 31, 2015.

ポジション	銘柄	限月	契約残高	未実現 評価損益
Short	10 Year Mini JGB June Futures	06/2015	(124)	¥ 5,952,000
Long	Euro STOXX 50 June Futures	06/2015	560	47,315,461
Long	Euro-BTP June Futures	06/2015	28	2,865,493
Short	Euro-Bund June Futures	06/2015	(4)	(799,553)
Short	Euro-Schatz June Futures	06/2015	(20)	(141,856)
Long	FTSE 100 Index June Futures	06/2015	105	2,048,652
Long	Long Gilt June Futures	06/2015	29	11,247,569
	Mini MSCI Emerging Markets Index June Futures	06/2015	(180)	(42,313,067)
Long	S&P 500 E-mini June Futures	06/2015	123	14,770,895
Long	S&P/TSX 60 Index June Futures	06/2015	110	16,102,188
Long	SPI 200 Index June Futures	06/2015	102	5,535,718
Long	TOPIX Index June Futures	06/2015	81	12,141,000
Short	U.S. Treasury 2 Year Note (CBT) June Futures	06/2015	(100)	(10,869,109)
				<u>¥ 63,855,391</u>

ファンドレベルでの為替予約取引残高

(2015年3月31日現在)

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,021,167,900	04/16/2015	GBP	5,580,000	¥ 28,815,063	¥ -	28,815,063
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	2,814,067,900	04/16/2015	EUR	21,400,000	54,557,906	-	54,557,906
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	20,784,085,000	04/16/2015	USD	171,500,000	220,535,839	-	220,535,839
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	181,314,300	04/16/2015	USD	1,500,000	1,458,185	-	1,458,185
						<u>¥ 305,366,993</u>	<u>¥ -</u>	<u>305,366,993</u>

デリバティブの額

（2015年3月31日現在）

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額
店頭デリバティブ			
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co.	¥ 305,366,993	¥ -
マスターネットティング契約の対象とな らないデリバティブ合計		¥ 305,366,993	¥ -
清算集中されるデリバティブ			
先物取引	Goldman Sachs International	¥ 117,978,976	¥ (54,123,585)
貸借対照表におけるデリバティブ合計		¥ 423,345,969	¥ (54,123,585)

通貨略称

EUR	-	Euro
GBP	-	Great British Pound
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第13期》決算日2016年1月14日

[計算期間：2015年7月15日～2016年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2014年1月14日)	10,042		0.0	90.4	—	1,437
10期(2014年7月14日)	10,045		0.0	93.4	—	1,284
11期(2015年1月14日)	10,047		0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049		0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		期騰	落率			
(期首) 2015年7月14日	円 10,049		% —	% 85.2	% —	% —
7月末	10,049		0.0	81.4	—	—
8月末	10,049		0.0	73.7	—	—
9月末	10,049		0.0	60.9	—	—
10月末	10,049		0.0	55.9	—	—
11月末	10,049		0.0	76.4	—	—
12月末	10,049		0.0	76.4	—	—
(期末) 2016年1月14日	10,049		0.0	70.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

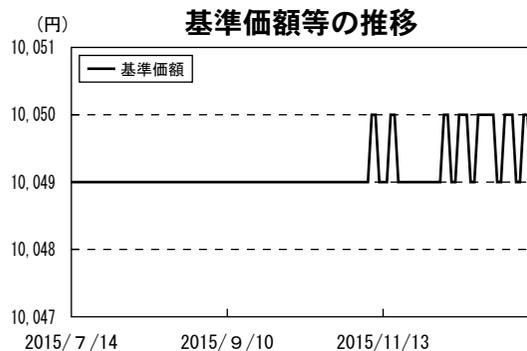
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第13期：2015/7/15～2016/1/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	残存期間が1年以内の国債、国庫短期証券を中心に投資を行い、利子等収益が積みあがったことが、基準価額のプラスに寄与しました。
下落要因	期末にかけての金利上昇により、保有債券の評価額が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

投資環境について

(第13期：2015/7/15～2016/1/14)

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、利子等収益は積みあがったものの、期末にかけて金利が上昇したことにより保有債券の評価額が下落したことなどの影響から、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年7月15日～2016年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2015年7月15日～2016年1月14日)

公社債

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	19,053,657	18,253,598 (900,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月15日～2016年1月14日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
公社債	百万円 99	百万円 6.6	%	百万円 -	百万円 -	% -

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年1月14日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	596,500 (200,000)	599,097 (200,000)	70.3 (23.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	70.3 (23.5)
合 計	596,500 (200,000)	599,097 (200,000)	70.3 (23.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	70.3 (23.5)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第566回国庫短期証券	—	200,000	200,000	2016/2/1
第98回利付国債(5年)	0.3	100,000	100,143	2016/6/20
第277回利付国債(10年)	1.6	67,900	68,088	2016/3/20
第279回利付国債(10年)	2.0	28,600	28,698	2016/3/20
第280回利付国債(10年)	1.9	50,000	50,408	2016/6/20
第282回利付国債(10年)	1.7	150,000	151,759	2016/9/20
合 計		596,500	599,097	

○投資信託財産の構成

(2016年1月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	599,097	69.3
コール・ローン等、その他	265,754	30.7
投資信託財産総額	864,851	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	864,851,365
コール・ローン等	264,330,720
公社債(評価額)	599,097,253
未収利息	923,848
前払費用	499,544
(B) 負債	12,845,587
未払解約金	12,845,587
(C) 純資産総額(A-B)	852,005,778
元本	847,818,437
次期繰越損益金	4,187,341
(D) 受益権総口数	847,818,437口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,049円

○損益の状況 (2015年7月15日～2016年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,166,843
受取利息	1,166,843
(B) 有価証券売買損益	△1,108,066
売買益	594
売買損	△1,108,660
(C) 当期損益金(A+B)	58,777
(D) 前期繰越損益金	3,991,676
(E) 追加信託差損益金	8,294,094
(F) 解約差損益金	△8,157,206
(G) 計(C+D+E+F)	4,187,341
次期繰越損益金(G)	4,187,341

<注記事項>

- ①期首元本額 817,500,936円
 期中追加設定元本額 1,688,467,883円
 期中一部解約元本額 1,658,150,382円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0049円です。

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円

新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンド (年2回決算型)	15,830,391円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドII (年2回決算型)	6,986,485円
日本株 2.5ブルベア・オープンII (マナー・プール・ファンドVIII)	514,333,828円
マナー・プール・ファンドIV	977,929円
マナー・プール・ファンドVI	103,149,659円
マナー・プール・ファンドVII (適格機関投資家専用)	976,581円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	137,774,158円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド (毎月決算型)	999円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997円
リスク・パリティαオープン	995円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	99,592円

国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	15,412,317円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	3,319,231円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)			4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)			4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジありコース (年2回決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジなしコース (年2回決算型)			9,957円
優先証券プラス・オープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替プレミアムコース (年2回決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジありコース (年2回決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジなしコース (年2回決算型)			9,956円
米国成長株オープン			996円
世界CoCosオープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			9,953円
世界CoCosオープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,953円
世界CoCosオープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型			9,952円
合計			847,818,437円